



目黒南中だより

令和7年度 第3号

令和7年6月2日発行

目黒区立目黒南中学校



目黒南中学校ホームページ

【教育目標】 自立 協創 信頼

声（言葉）の力 ～南中魂を込めて～

校長 金子弘樹

5月中旬に梅雨入りした地域がありますが、本校の体育大会が6月7日に予定されていることもあり、関東地方の梅雨入りが気になるところです。梅雨の語源には諸説ありますが、「梅の実が熟す頃に降る雨」から「梅雨（ばいう）」と呼ばれるようになったというもの。梅雨に対するイメージは、「ジメジメする」「湿度が高い」「色鮮やかな紫陽花」など人それぞれですが、社会生活を送るために水は欠かせません。6月は、「水が無かった田んぼに水を入れる月」「水の月（の=無）」ということから水無月と書くこともあります。今、令和の米騒動が話題になり、備蓄米などの行方が気になりますが、農家にとっては持続可能な生産を続けるためにも必要な梅雨（水）ではないでしょうか。

「1・2!1・2!」大きなかけ声が校庭に響いています。さらに5月下旬から体育大会の練習が始まると、様々な工夫されたかけ声が飛び交うようになりました。そこには一生懸命に取り組む姿があり、クラスメイトを必死に応援する姿があります。またその姿に一人ひとりの思いを込めた声（言葉）がいくつも重なります。

声（言葉）には目に見えない力が宿り、心に大きな影響を与えていると言われています。また、声を出すことによって多くの精神的効果や実質的効果がもたらされています。さらに、「おはよう」「ありがとう」「元気!」などのあいさつの声は人と関わる中でお互いを承認する、心の距離感を縮めるなど心理的安全性を高める効果にもつながっています。

第1回体育大会のスローガンは「戮力協信（りくりよくきょうしん）」。全員の力を結集し、一致協力して事に当たる意味を込めて掲げてくれました。

全員の力を結集するためにも、集団の力を高めるためにも一人ひとりが発する声（言葉）を大切にしましょう。そして、その声とともに、一人ひとりが一生懸命になれる体育大会、一生懸命に取り組んでいる人を応援できる体育大会を全員の力で創り上げましょう。

声の力

- ①自分の気持ちを高める。
- ②集中力を高める。
- ③前向きになる。
- ④仲間を励ます。
- ⑤お互いの存在を確認する。
- ⑥次の行動が明確になる。
- ⑦筋出力を高めて運動能力を上げる。
- ⑧一体感・団結力を高める。
- ⑨意思を確認する。など

